

2008年度 卒業論文講評

2009年2月 小関 隆志

庄司毅「金融機関によるNPOへの融資」

NPOへの融資は日本でも2000年以降、少しずつ増え始めてきました。労働金庫や信用金庫などがNPOへの融資制度を新設し、またNPOバンクと呼ばれる団体も相次いで設立されています。

従来、NPOの資金調達手段といえば寄付や助成金が中心で、融資などは全く注目されませんでした。委託事業や介護保険事業などを担うNPOが増えるに伴い、融資の必要性が認識されるようになってきました。

庄司さんはNPO融資をテーマに選び、NPOに融資している3つの金融機関（中央労働金庫、西武信用金庫、女性・市民信用組合設立準備会（WCC））を事例に取り上げました。それぞれの金融機関で、どのように融資が行われているのか、実際に訪問して担当の方に話をうかがいました。

実際に金融機関を訪問して聞き取りを行ったのは、とても良かったと思います。本やインターネットで調べられることと、実際に話を聞いて初めて分かることがあります。調査した内容を論文にどうまとめるかが難しかったようですが、ともかく、よく努力しました。

庄司さんは卒業後、金融機関に就職する予定ですが、今度は金融機関内部の立場から、NPO融資の問題を考え、できれば何らかのかかわりを持ってほしいと思います。今後の活躍を期待します。